

「2030年の新しい質価値創造の ビジネスモデルを描く」

2030年の質価値創造研究会取組報告会
* 2年間の取組成果を紹介。是非ご参加下さい。

2024年8月6日(火)
13:30~16:00

- * オンライン開催 (ZOOMライブセミナー)
- * 無料
- * 事前申し込み要

参加申込URL;
<https://forms.gle/gtHDPVw6XtHgUrD8>

QRコードでも申し込みできます

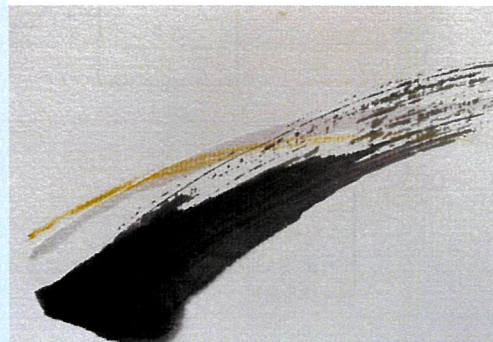


「2030年の新しい質価値創造の ビジネスモデルを描く」

2030年の質価値創造研究会取組報告会

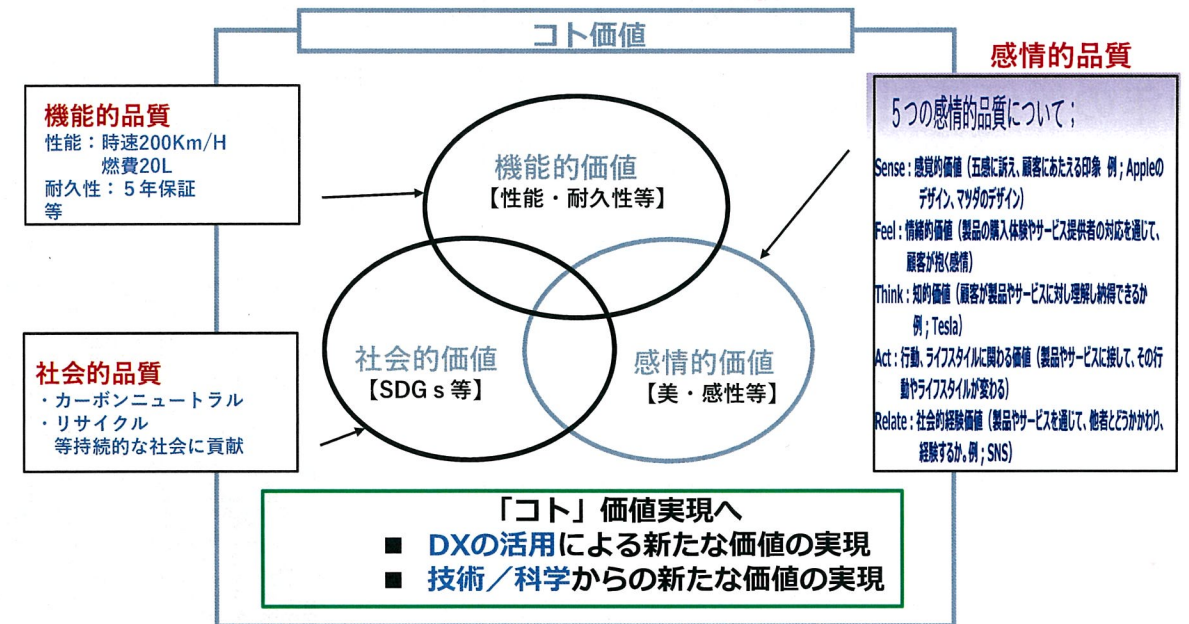
プログラム:

- 1) ご挨拶と研究会活動総括
- 2) 竹林分科会報告(モノからコトの品質体系)
- 3) 山本分科会報告(QC×DX×SDGs最適化)
- 4) 総合ディスカッション
- 5) これからの取り組みへむけて提言



竹林分科会: 「モノ」から「コト」への品質体系をデザインする

「コト価値」を考える 「3つの価値」で定義 「3つの価値」を担保する「3つの品質」



山本分科会 * SDQキューブのSはSDGs、DはDX、QはQCを表す
サプライチェーン全体の工程におけるSDGs、DX、QCの3つの視点を統合し、もてるリソースの最適化を図るためのツールとその活用ケーススタディづくりに取り組む。

<図1 作る工程とSDQ>

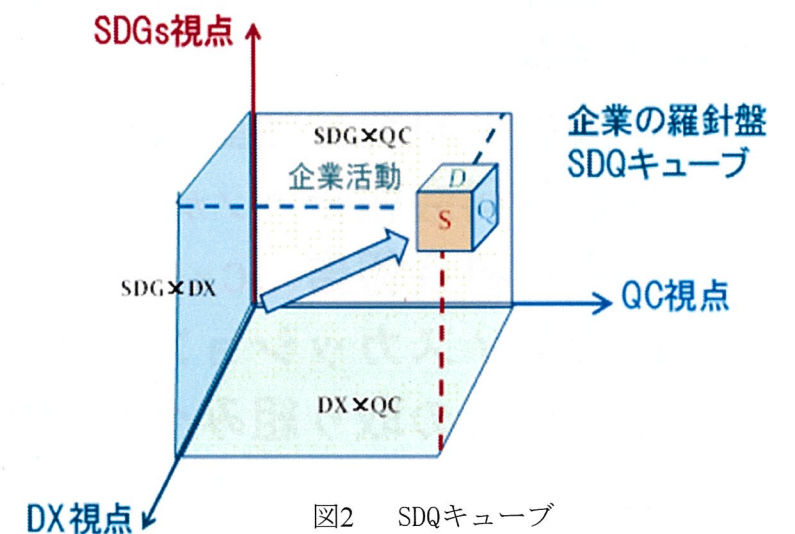
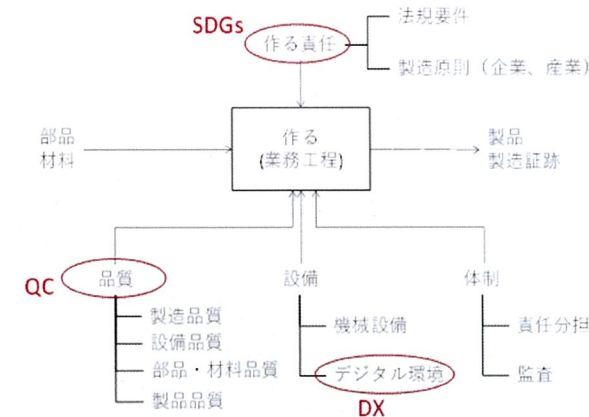


図2 SDQキューブ

業務工程には、SDGs、DX、QCが関係しており、個別に取り組むのではなく、総合する必要。上述したSDGs視点、DX視点、QC視点を軸とする3次元空間上に業務を位置づけることができる(図2)。